



# いぶきまつもと

(公民館だよりは鹿児島市のホームページでもご覧になれます。市ホームページ→メニュー→文化・スポーツ→生涯学習→地域公民館→公民館だより)



## 「つながる」



鹿児島市松元公民館 館長 有村 真由美

「新しい友ができて高齢者の仲間ができました。」

これは、令和5年度講座を受講された方の感想の一文です。公民館には、講座を開講したり部屋を貸したりするだけでなく、「人」と「人」をつなげるという役割があると思っています。講座の部屋から楽しい笑い声が聞こえてくると私たち職員も笑顔になります。

さて、今年5月、コロナウィルス感染症が5類感染症に移行したことに伴い、松元地域でも様々な行事が復活、開催されました。運営された皆様にとって大変だったとは思いますが、そこに集う人々の笑い声、会話、久しぶりに会って喜んでおられる姿・・・その様子にご苦労も報われたのではないのでしょうか。今は、画面越しで会話できる便利な時代になりました。遠く離れたお孫さんや入院されているご家族と画面越しでも会えることはとてもありがたいことです。反面、画面の向こうにいる孫や家族に会いたい、抱っこしたい、手を触れたい・・・そんな思いも増してきます。自粛期間があったからこそ、人が実際に顔を合わせて話すことがこんなに楽しいことだったと私たちに教えてくれました。小さなことにも幸せを感じる毎日がとても尊いものだと思いながら過ごした一年でした。

今年も松元公民館を利用して、そして応援していただき本当にありがとうございました。皆様にとって「行きたくなる公民館」そして人と人が「つながる公民館」を目指して、来年も職員一同、笑顔全開でお待ちしております。

皆様にとりまして、さらに素晴らしい一年となりますように願っております。

## いきいき公民館講座 後期編パート2

12月号に引き続き通年・後期講座の様子です。受講された皆様の写真と感想を紹介します。来年度も多くの皆様の受講をお待ちしています。(募集は来年4月の公民館だよりにて)

### 【ビューティーコア体操】



・みんなで和気藹々と楽しく動いて頭と身体のメンテナンスできてありがたい。

### 【スマホ活用術 Andoroid 編】



・気さくなメンバーで先生も丁寧に指導。ステップアップに向け勉強中です。

### 【百人一首入門】



・先生の出したふだの決まり字を当てたり、少し取れるようになったりしてきたよ。

### 【親子読書とリトミック】



・音に合わせて身体を動かすことが上手になり、読み聞かせも集中していました。

### 【初心者陶芸教室】



・指導者がつきっきりで教えてくださったので、予想以上の作品ができそうです。

### 【さつま狂句入門】



・雅号(ペンネーム)や「着」という題で作った句を鑑賞。笑ってしまう句。楽しい。

## 松元地域人権問題研修会「仕事のお父ちゃん」

脚本：上田 美和（県立伊集院高等学校教諭・演劇部顧問）

演者：県立伊集院高等学校演劇部

12月2日(土)、松元地域人権問題研修会を開催しました。研修会では、「仕事のお父ちゃん」という上田先生の創作脚本で、伊集院高等学校演劇部の皆さんが演じました。その後、顧問の上田先生に講話をしていただきました。

元受刑者の親代わりとなり、社員として受け入れる雇用促進プロジェクト（職親）に取り組んでいるお好み焼きチェーン店「千房」の創業者中井政嗣さんの半生を舞台化した創作劇でした。高校生の一生懸命な演技と人物の気持ちを伝えようとする姿勢、学歴と闘う主人公の生い立ちや生き方に観客の皆さんも涙することでした。

その後、上田先生の「ドラマを創る」という講話では、創作するための情報収集や脚本づくりの難しさ、高校生への役作りの指導など貴重なお話をいただきました。中でも「生徒がいろいろな役になりきることで様々な立場の人の気持ちを考えることができる。そのことは、将来、社会に出ても想像力を働かせて他者を理解することにつながる」と言われたのが印象的でした。

各学校や幼稚園の保護者、各校区成人学級など、当日、御出席いただいた皆様に感謝申し上げます。また、運営に御協力いただいたサポーターの皆様ありがとうございました。

出席された方の感想の一部を紹介します。（一部抜粋、加筆）

- ・ 劇の中に、人権について見つめ直すポイントが多々あり、考えながら、演劇に引き込まれながら観ることでした。上田先生の講話で、さらに知見が深まりました。これからも人権について、常に考え、行動していく人でありたいです。素晴らしい。感動しました。
- ・ 演劇でいろいろな人の境遇を演じることで、相手の立場に立って行動できる人になれる素晴らしい活動だと思いました。伊集院高等学校演劇部が3年しか経っていない部活とは思えません。「ひっくり返すんや」の台詞がすごく印象的でした。
- ・ 加害者の社会復帰の難しさ、そこから再犯の繰り返し。それが、明るみ出ないことで改善されない。難しさを感じます。この劇がもっと多くの人に見てもらえることでみんなで考える機会に繋がってほしいと思いました。高校生の劇で終わるのはもったいないと思います。加害者の減少＝元受刑者の支援＝再犯率の減少＝被害者の減少
- ・ 人生を自分の手でひっくり返すっていいなと思いました。学歴や職業での差別なんてくだらないことがなくなる社会を目指します。多様性を認め合う世の中になればいいですね。
- ・ 人を見た目や犯罪だけで判断しない。中身を知れば被害者のケースもあると思いました。
- ・ 日々の生活の中で、もっと周りを見て生活していかないといけないと思いました。



## サンエールフェスタ 2024 ここに壁なし！

共に歩んで 未来の扉をひらこう！！

1 期間 令和6年1月19日（金）～1月21日（日）参加無料、駐車場は中州小学校

展示部門 1月16日（火）～1月21日（日）無料託児有り（要事前申込）

2 会場 サンエールかごしま（TEL：099-813-0851・099-813-0852）

※ 映画やワークショップの他、講座や音楽祭なども行われます。1月21日（日）13時から  
の音楽祭には、松元公民館自主学习グループ「ザ・ハ長調」が出演します。

詳しいチラシは、松元公民館にも置いてあります。是非、ご参加ください。



「かごしま絵手紙コンクール」で松元小学校2年小杉はるさんが大賞を受賞されました。作品名は「わたしのかわいいいもうと」です。夏休みの親子絵画教室で、原口茜先生から指導していただいた作品です。はるさんおめでとうございます。



「かごしまの魅力再発見絵画コンクール」で自主学习の水彩画グループの指導者である原口茜先生が大賞を受賞されました。魚類に多色を使いながら、鮮度を保った表現力がお見事。品格ある作との好評です。原口先生おめでとうございます。